

ダムからの放流について

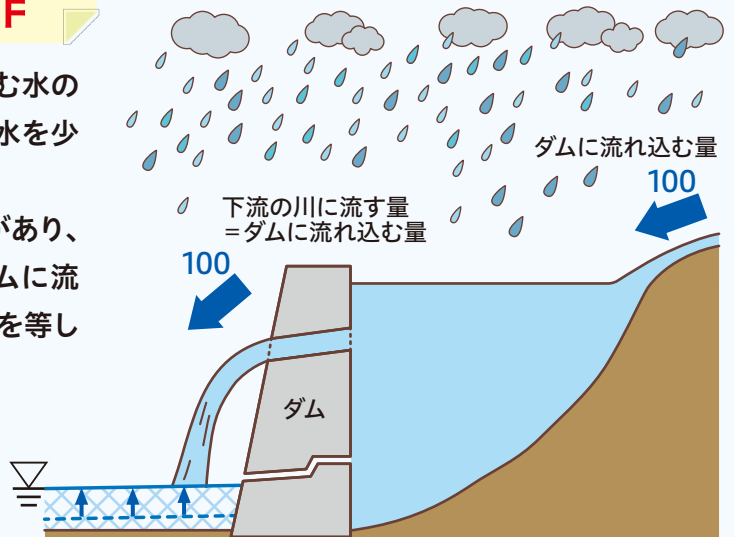
異常洪水時防災操作

ダムには大雨が降るとダムに流れ込む水の一部を貯め込み、ダム下流の川に流す水を少なくさせる役割があります。

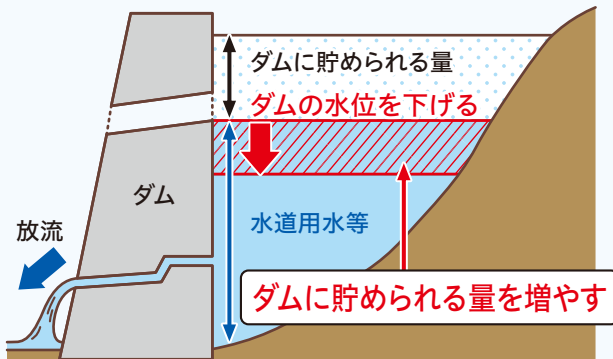
なお、ダムに貯められる量には限界があり、ダムが満水になりそうな場合には、ダムに流れ込む水とダム下流の川に流す水の量を等しくします。

この操作を異常洪水時防災操作といいます。

ダム下流の川の急激な水位上昇に注意してください。



事前放流



ダムが満水になるような大雨が予想される場合に、水道用水等のために貯めている水をあらかじめ放流し、水位を下げることで、ダムに貯められる量を増やします。

このことをダムの**事前放流**といいます。

近年頻発化する豪雨に備え、

香川県土木部が管理する全ての15ダムで事前放流の運用を令和2年7月から開始しています。

ダムから放流する時のお知らせ

ダムの放流により下流の川の水位が急激に上昇する場合は、川沿いに設置しているサイレンを鳴らしてお知らせしています。

事前放流では雨が降ってなくてもサイレンを鳴らす場合がありますのでご注意ください。

